



2021年10月25日

各 位

会社名 株式会社リプロセル
代表者名 代表取締役社長 横山 周史
(コード番号: 4978)
問合せ先 取締役 CFO 赤野 滋友
(TEL. 045-475-3887)

Hoth Therapeutics 社とのパートナーシップ契約延長に関するお知らせ

2021年3月15日付でお知らせしましたとおり、当社はHoth Therapeutics社（本社：米国ニューヨーク州、以下Hoth社）と、炎症性腸疾患（IBD）における創薬プログラムを推進するためのパートナーシップ契約を締結しております。この度、Hoth社の治療プラットフォーム評価の更なる加速化を目的として、本契約を延長しましたので、お知らせいたします。

当社の提供している炎症性腸疾患を対象とした創薬サービスでは、潰瘍性大腸炎及びクローン病を対象に、欧米における当社の幅広い病院ネットワークを生かしながら、同疾患の患者様から提供された新鮮な腸管組織を用いて、薬剤候補化合物の薬効評価試験を行い、薬剤投与前後の組織切片に含まれる炎症マーカーのレベルを測定することで、ある化合物が臨床試験で有意な効果をもたらす可能性があるかどうかを判断することができます。本プログラムでは、Hoth社のもつ薬剤候補化合物（HT-003）の薬効評価試験を請け負うことにより、同社の炎症性腸疾患の創薬プログラムが迅速に進むようサポートいたします。

当社の100%子会社Reprocell EuropeのDavid Bunton最高経営責任者（CEO）は、「Hoth社とのヒト組織試験プロジェクトを延長できることを嬉しく思います。これまでにHT-003の治療プラットフォームについて、有望なデータを得ています」と述べております。また、Reprocell Europeにおける本プロジェクト責任者であるCristina Lindeは、「当社の創薬チームとして新薬開発に貢献できることに誇りに思います」と述べています。

また、Hoth社の最高科学責任者（CSO）であるStefanie Johns氏は、「リプロセルの新鮮なIBD組織を用いたex-vivoアッセイは、潰瘍性大腸炎及びクローン病をターゲットとしたHT-003治療プラットフォームの可能性を評価するための情報を提供し続けており、最適化された標的反応を有するリード候補分子の開発のために有益な情報が継続的に得られています」と述べています。また、「これらの試験から短期間で収集できたデータの量と質は注目に値します」と評価しています。

当社のIBD ex-vivoアッセイでは、40種類以上の炎症性メディエーターを、健康な組織、クローン病、潰瘍性大腸炎など、さまざまな種類の組織で測定することができます。これらの研究で得られた組織のサイトカインプロファイルは、薬剤に対する臨床反応を反映しており、マルチプレックスELISA、遺伝子発現、免疫組織化学などのいくつかの項目を評価することができます。

Hoth Therapeutics, Inc. について

Hoth Therapeutics, Inc. は、アンメットメディカルニーズ（まだ満たされていない医療ニーズ）に対する、新世代の治療法開発に注力する臨床段階のバイオ製薬企業です。Hoth 社のパイプラインは、アトピー性皮膚炎、癌治療に伴う皮膚毒性、慢性創傷、乾癬、喘息、にきび、肥満細胞由来の癌とアナフィラキシー、肺炎などの適応症で苦しむ患者様の生活の質を改善することに重点を置いています。

同社の詳細については、下記のウェブサイト（英語）をご覧ください。

<https://ir.hoththerapeutics.com/>

潰瘍性大腸炎について

潰瘍性大腸炎は、大腸の粘膜に炎症が起きることで、粘膜が傷つき、ただれたり潰瘍ができたりする疾患です。腹痛や下痢、発熱、血便などの症状を特徴とし、日本国内に約 22 万人の患者がいるとみられます。発症の原因は明らかになっておりません。

以 上